

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2016年3月期 第3四半期 連結決算概況と通期見通し

2016年2月5日
オリンパス株式会社
取締役専務執行役員
経営統括室長 CFO
竹内 康雄

第3四半期実績

- 連結：リーマンショック以降、過去最高の営業利益を計上
- 医療：3期連続で過去最高を更新

通期業績見通し

- 米国司法省との協議進捗による損失引当金の追加計上、中国経済の先行き不透明感の高まりはあるものの、従来年間見通しを達成できる見込み

2016年3月期 第3四半期 連結業績および事業概況

2016年3月期 第3四半期実績 ①連結業績概況

収益性の向上

- ① 第3四半期累計として過去最高の営業利益率
- ② 医療事業の比率の高まりにより、売上総利益率が改善 (+2.8pt)
- ③ 米国司法省との協議進捗による損失引当金156億円を追加計上したものの増益を確保

3Q累計 (4-12月)

3Q実績 (10-12月)

(単位：億円)	2015年3月期	2016年3月期	増減額	前年同期比	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比
売上高	5,500	5,925	+425	+8%	1,950	1,968	+1%
売上総利益 (売上総利益率)	3,504 (63.7%)	3,938 (66.5%)	+434 (+2.8pt)	+12%	1,250 (64.1%)	1,310 (66.6%)	+5%
販管費 (販管費率)	2,884 (52.4%)	3,201 (54.1%)	+318 (+1.7pt)	+11%	1,014 (52.0%)	1,074 (54.6%)	+6%
営業利益 (営業利益率)	621 (11.3%)	737 (12.4%)	+116 (+1.1pt)	+19%	236 (12.1%)	236 (12.0%)	△0%
経常利益 (経常利益率)	482 (8.8%)	647 (10.9%)	+165 (+2.1pt)	+34%	185 (9.5%)	212 (10.8%)	+14%
当期純利益(※) (当期純利益率)	319 (5.8%)	429 (7.2%)	+109 (+1.4%)	+34%	96 (4.9%)	70 (3.6%)	△27%
円/USドル	107円	122円	15円 (円安)				
円/Euro	140円	134円	▲6円 (円高)				
影響額：売上高	-	+260億円					
影響額：営業利益	-	+125億円					

2016年3月期 第3四半期実績 ②セグメント別概況

① 医療事業：第3四半期として過去最高の実績

② 映像事業：販管費改善等により黒字を確保し、順調な進捗

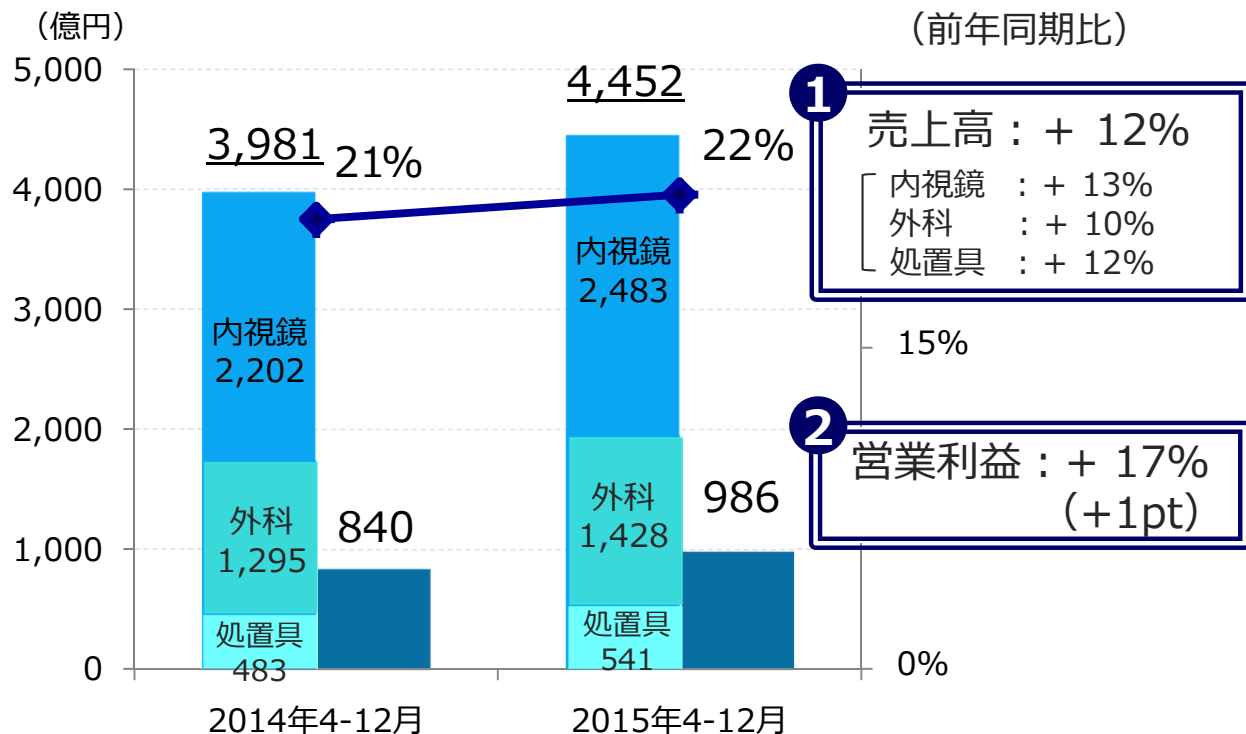
(単位：億円)		3Q累計 (4-12月)				3Q実績 (10-12月)			
		2015/3	2016/3	増減額	前年同期比	2015/3	2016/3	増減額	前年同期比
医療	売上高	3,981	4,452	+471	+12%	1,413	1,473	+60	+4%
	営業利益	840	986	+146	+17%	294	308	+13	+5%
科学	売上高	728	735	+7	+1%	261	251	△10	△4%
	営業利益	36	56	+20	+56%	23	22	△1	△3%
映像(※)	売上高	606	620	+14	+2%	229	205	△24	△11%
	営業利益	△49	1	+50	-	△12	1	+12	-
その他(※)	売上高	185	118	△67	△36%	46	39	△7	△16%
	営業利益	△4	△48	△44	-	△3	△16	△13	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	△202	△258	△56	-	△66	△79	△13	-
連結合計	売上高	5,500	5,925	+425	+8%	1,950	1,968	+18	+1%
	営業利益	621	737	+116	+19%	236	236	△0	△0%

2016年3月期 第3四半期実績 ③医療事業

- ① 累計 : 内視鏡、外科、処置具の販売が好調に推移し、3分野で2桁成長を記録
- ② 累計 : 戦略投資による費用増を増収及び粗利改善でカバーし、営業利益率も1pt上昇

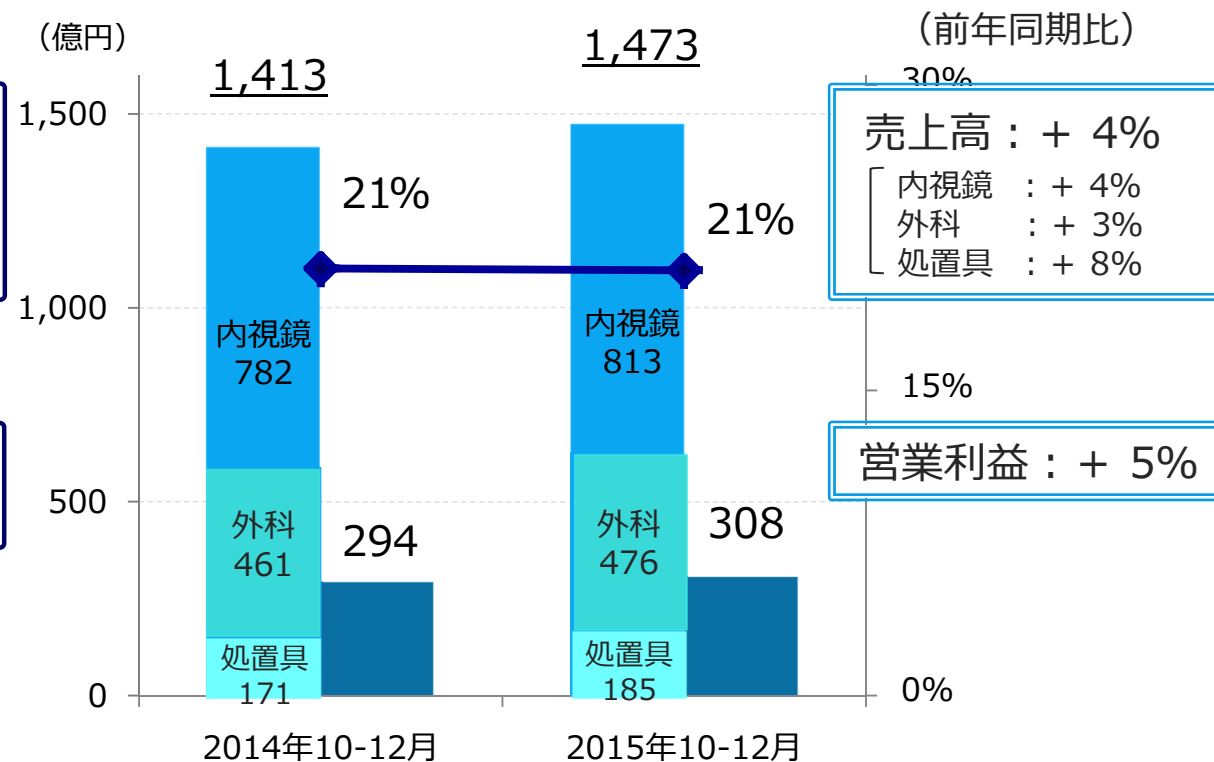
3Q累計 (4-12月)

■ 売上高 ■ 営業利益 ◆ 営業利益率



3Q (10-12月)

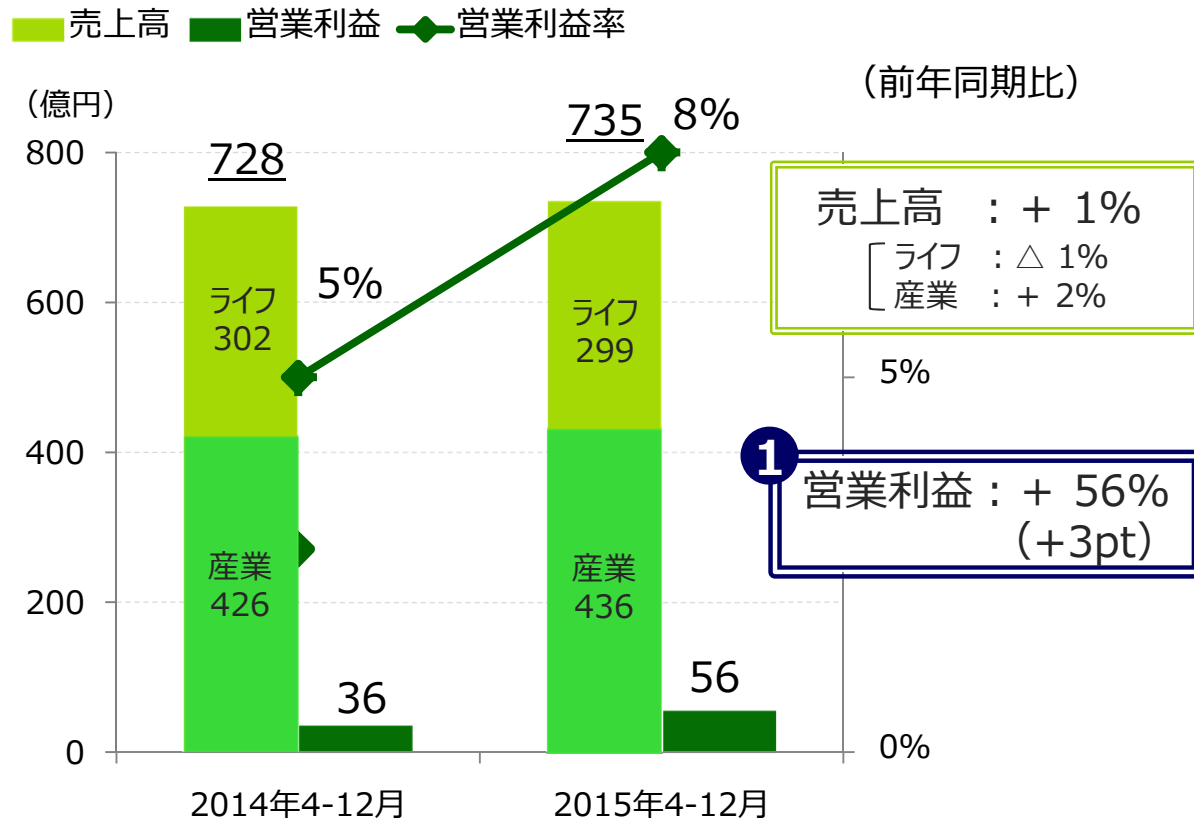
■ 売上高 ■ 営業利益 ◆ 営業利益率



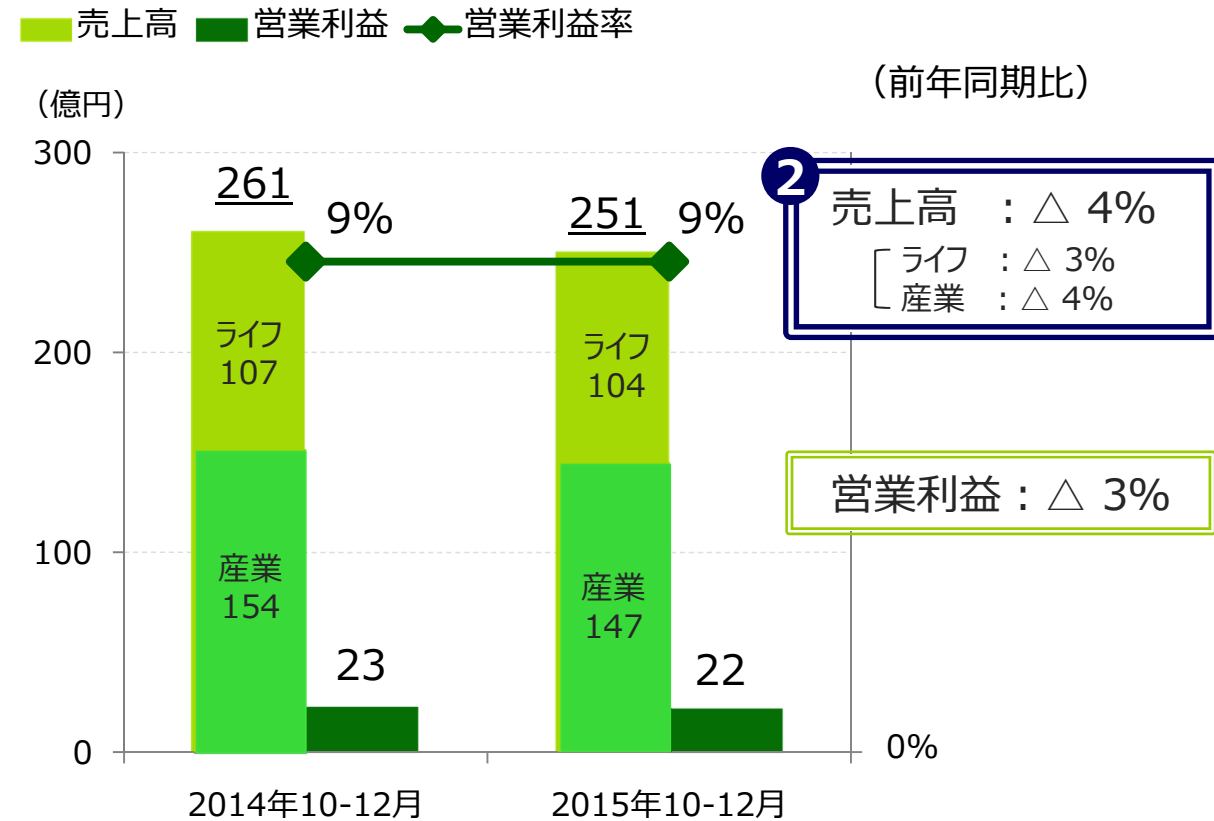
2016年3月期 第3四半期実績 ④科学事業

- ① 累計 : 製造原価率改善等、継続的なコスト削減により営業利益率は大幅上昇
- ② 3Q : 事業環境の悪化により減収となったものの、営業利益は前年同期並みを確保

3Q累計 (4-12月)



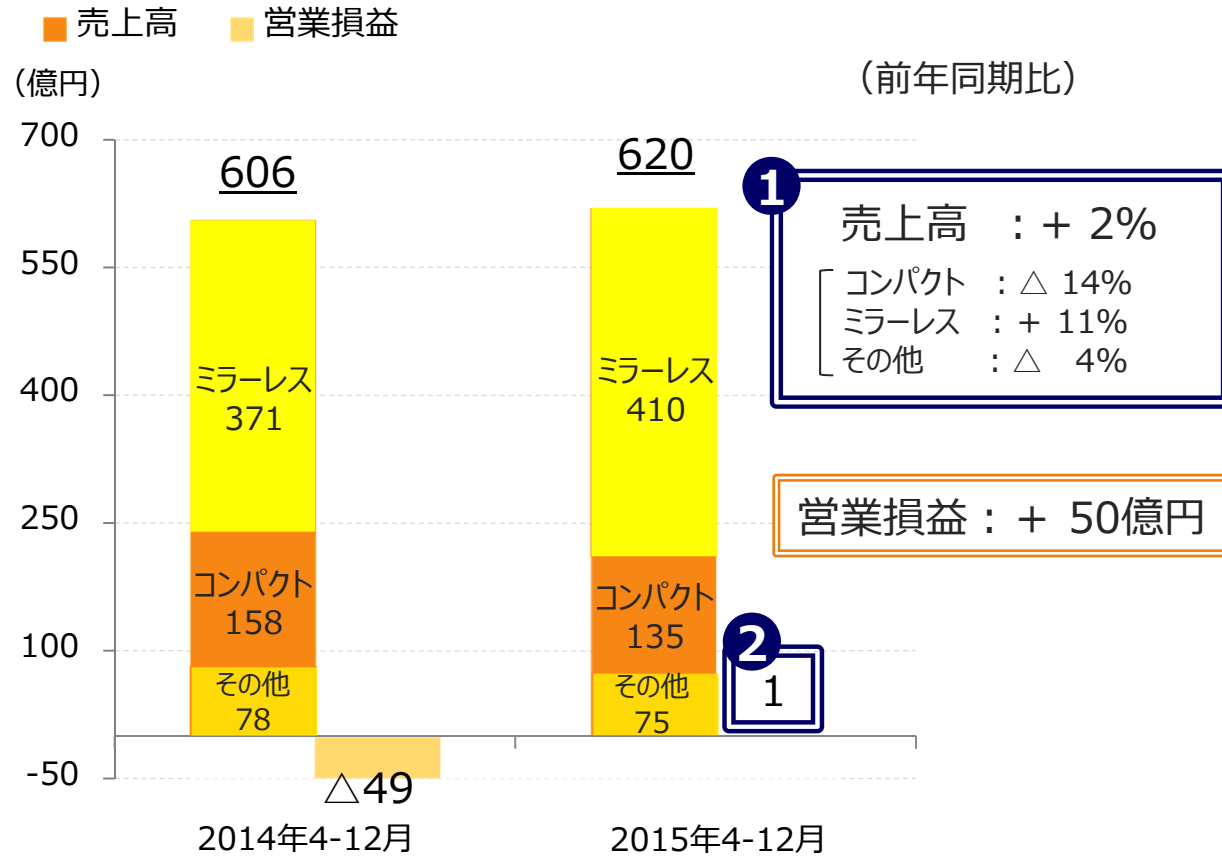
3Q (10-12月)



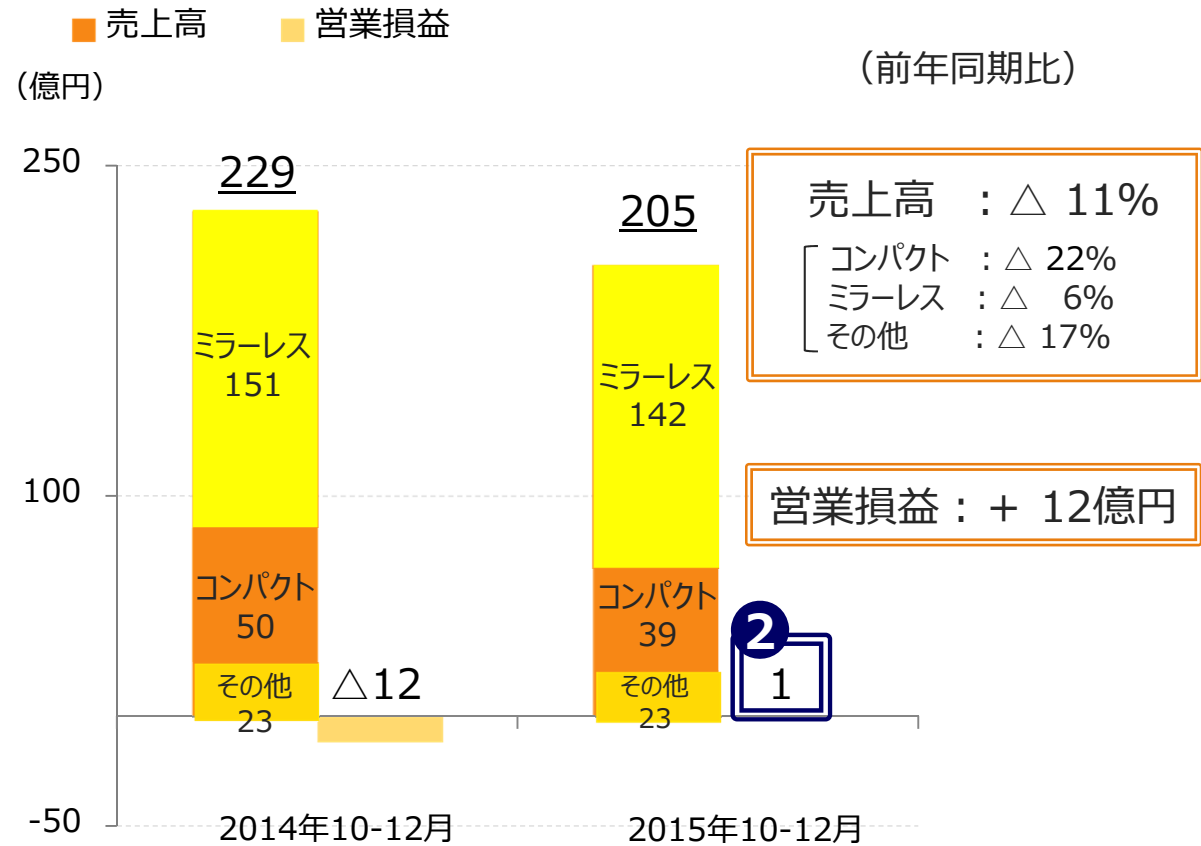
2016年3月期 第3四半期実績 ⑤映像事業

- ① 累計 : OM-Dシリーズを中心にミラーレスが日・欧で好調に推移したことにより増収
- ② 累計・3Q : 円安の影響があったものの、販管費効率化等により、営業損益は黒字を確保し、順調な進捗

3Q累計 (4-12月)



3Q (10-12月)

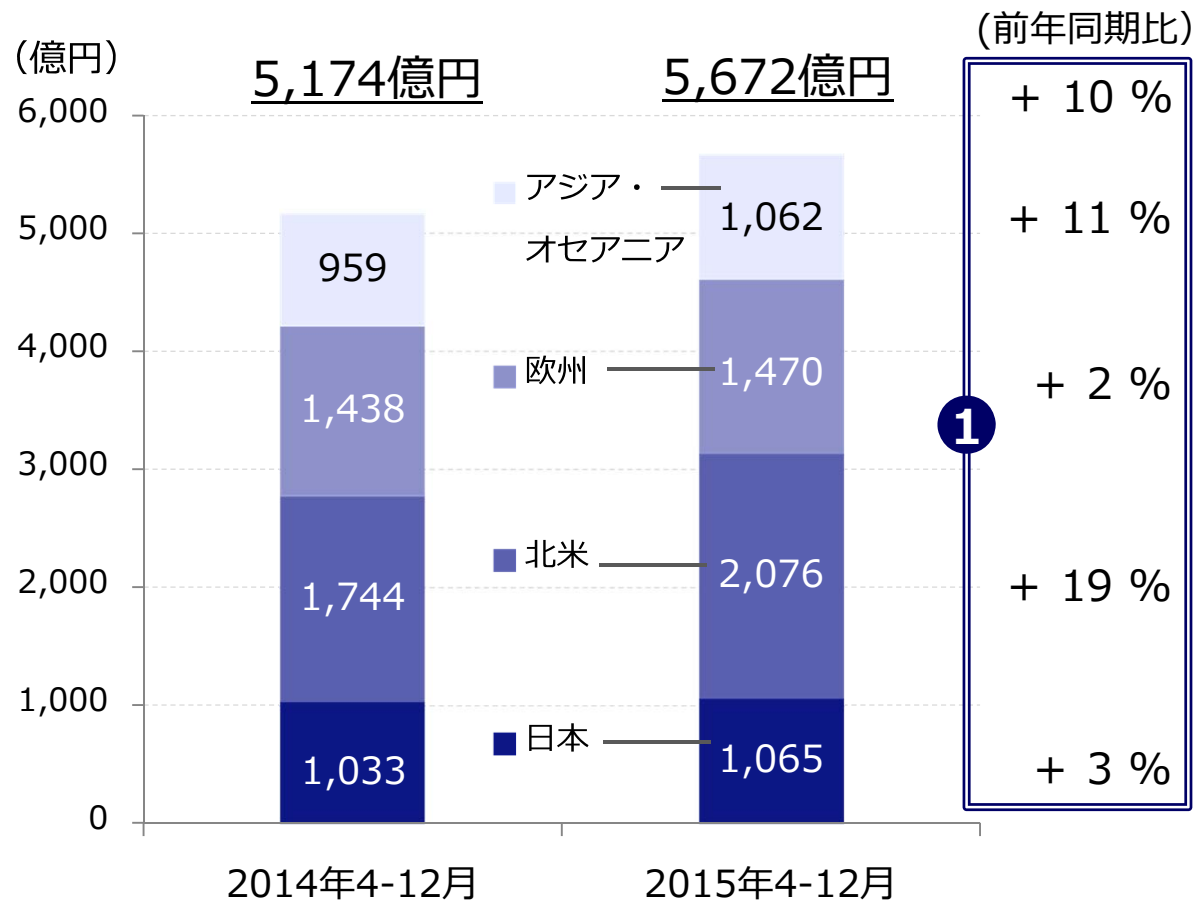


2016年3月期 第3四半期実績 ⑥地域別売上高

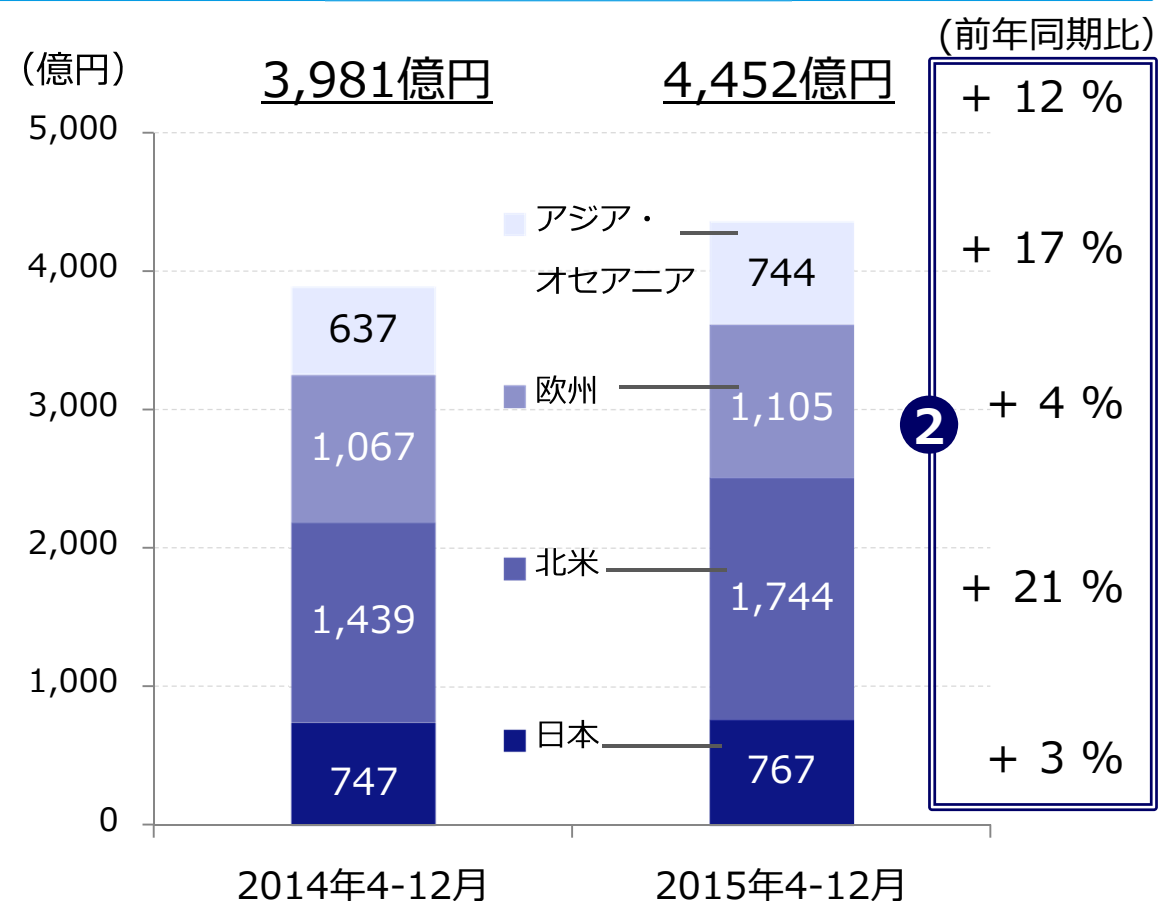
- ① 連結 : 好調な医療事業が牽引し、全地域で増収
- ② 医療 : 海外ビジネスが好調に推移し、全地域で増収

(中国：景気減速の影響をディスプレイ製品の拡販でカバーし、2桁成長を確保)

3Q累計 (4-12月)(※)



医療 (4-12月)



連結貸借対照表 (2015年12月末)

- ① デジカメ在庫の削減は予定通りに進捗し、80億円減の157億円
- ② 医療事業の主力製造拠点への設備投資等により有形固定資産が175億円増加
- ③ 有利子負債は約400億円圧縮、自己資本比率は36.7%

(単位：億円)	2015年 3月末	2015年 12月末	増減額		2015年 3月末	2015年 12月末	増減額
流動資産 (デジカメ在庫)	5,775 (237)	5,669 (157)	△106 (△80)	流動負債	3,748	3,637	△111
有形固定資産	1,501	1,677	+175	固定負債 (内：社債・長期借入金)	3,495 (2,533)	3,198 (2,236)	△297 (△297)
無形固定資産	1,806	1,661	△146	純資産	3,573	3,994	+421
投資その他資産	1,732	1,822	+90	(自己資本比率)	(32.9%)	(36.7%)	(+3.8pt)
資産合計	10,816	10,829	+13	負債 純資産 合計	10,816	10,829	+13

③ 有利子負債： 3,142億円 (2015年3月末比 △402億円)

純有利子負債： 1,054億円 (2015年3月末比 △391億円)

連結キャッシュフロー計算書（2015年4月～2015年12月）

① FCF：好調な事業利益を主要因として、前年同期比約3倍となる456億円を確保

(単位：億円)		2015年3月期3Q	2016年3月期3Q	増減
売上高		5,500	5,925	+425
営業利益		621	737	+116
	(営業利益率)	11.3%	12.4%	+1.1pt
営業CF		358	849	+491
投資CF		△215	△393	△178
財務CF		△577	△460	+117
キャッシュフロー		△434	△4	+430
フリーキャッシュフロー		142	456	+314
現金及び現金同等物期末残高		2,164	2,088	△76
減価償却費		299	292	△7
のれん償却額		69	75	+6
設備投資額		278	485	+208

2016年3月期 通期業績見通し

2016年3月期 通期業績見通し

- 米国司法省との協議進捗による損失引当金156億円の追加計上、中国経済の先行き不透明感の高まりはあるものの、従来の年間見通しを達成できる見込み

(単位：億円)	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (最新見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)
売上高	7,647	8,160	+513	+7%
営業利益 (営業利益率)	910 (11.9%)	1,000 (12.3%)	+90 (+0.4pt)	+10%
営業外収支	△182	△ 140	+42	—
経常利益 (経常利益率)	728 (9.5%)	860 (10.5%)	+132 (+1.0pt)	+18%
当期純利益(※) (当期純利益率)	△87 (—)	560 (6.9%)	+647 (—)	—
円/USDドル	110円	120円	10円 (円安)	
円/Euro	139円	133円	6円 (円高)	
影響額：売上高	-	+221億円		
影響額：営業利益	-	+119億円		

2016年3月期 セグメント別業績見通し

① 医療事業が全社業績を牽引

② 売上高 : 科学事業は事業環境の悪化により下方修正。映像事業はこれまでの売上増を反映し上方修正

営業利益 : 科学事業、映像事業ともに据え置き

(単位：億円)		2015/3 (実績)	2016/3 (最新見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)	2016年3月期 (2Q時見通し)
医療	売上高	5,583	① 6,150	+567	+10%	6,150
	営業利益	1,249	1,370	+121	+10%	1,370
科学	売上高	1,039	② 1,060	+21	+2%	1,100
	営業利益	68	80	+12	+17%	80
映像 (※)	売上高	794	800	+6	+1%	760
	営業利益	△ 117	0	+117	-%	0
その他 (※) (新事業)	売上高	230	150	△ 80	△ 35%	150
	営業利益	△ 10	△ 120	△ 110	-%	△ 120
全社・消去	売上高	-	-	-	-%	-
	営業利益	△ 281	△ 330	△ 49	-%	△ 330
合計	売上高	7,647	8,160	+513	+7%	8,160
	営業利益	910	1,000	+90	+10%	1,000

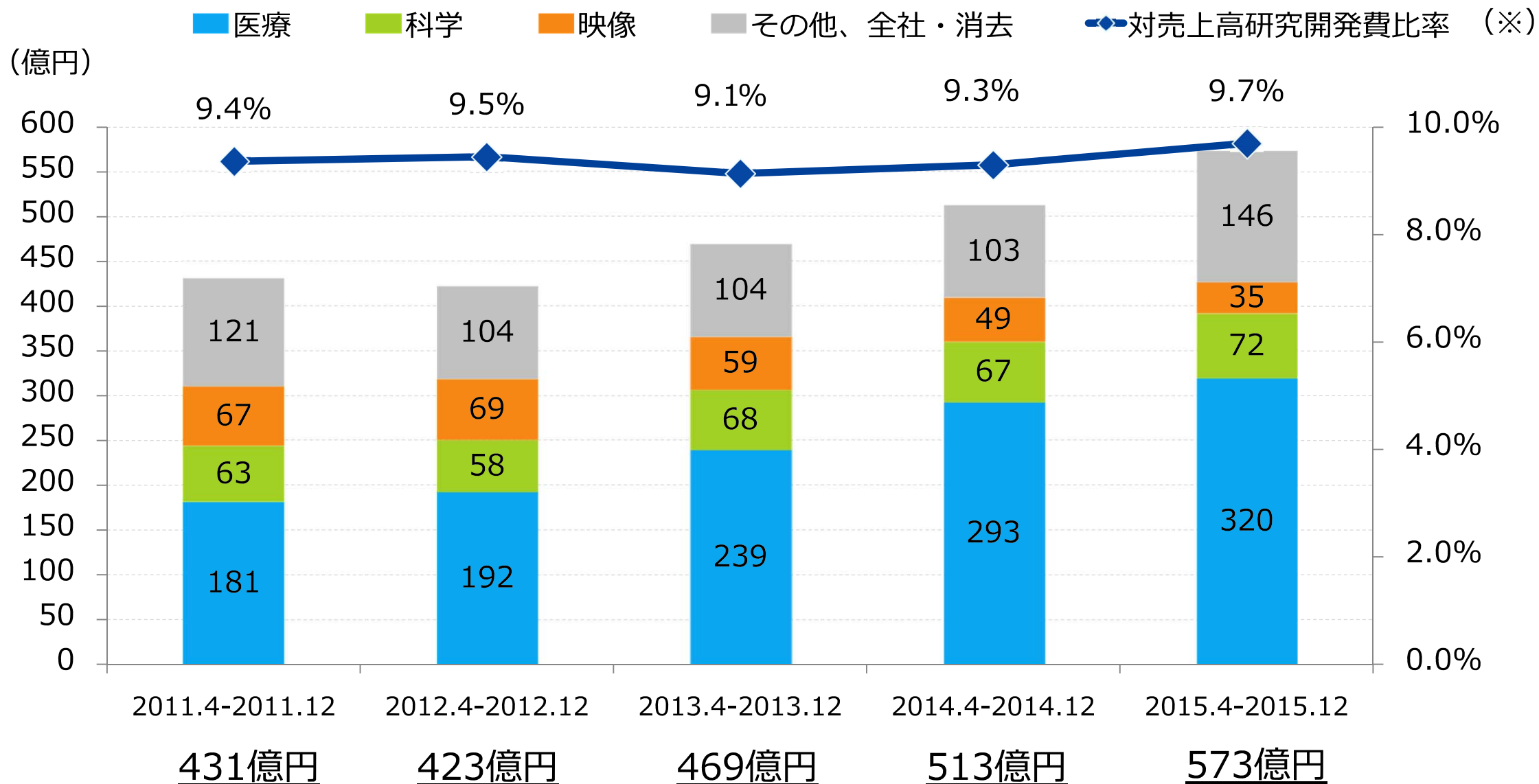
OLYMPUS

參考資料

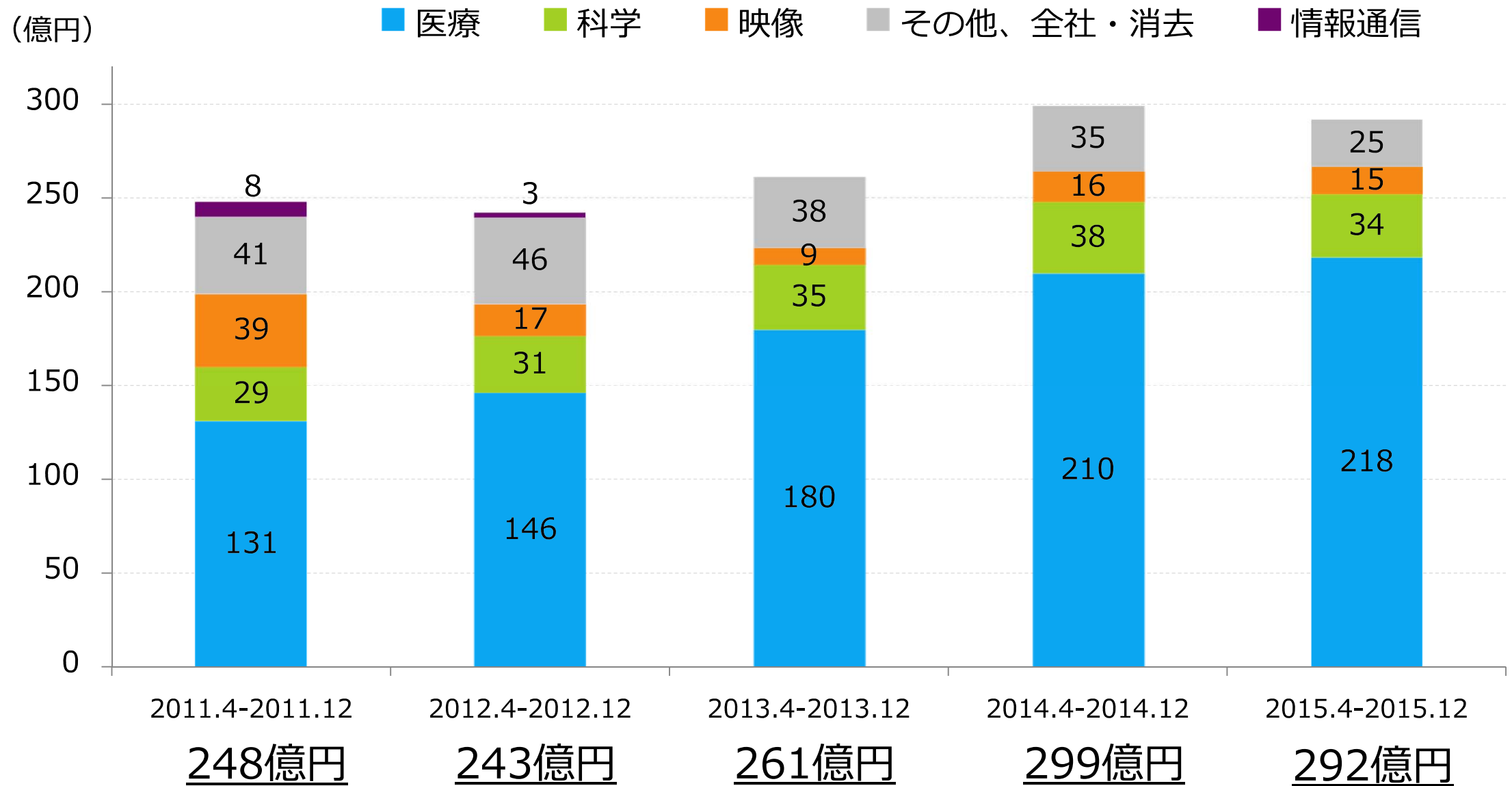
【参考資料】映像事業 3Q（10-12月）前年同期比・差異 詳細

（億円）	2015年3月期 3Q（10-12月）	2016年3月期 3Q（10-12月）	増減
売上高	229	205	△24
┌ ミラーレス一眼	151	142	△8
└ コンパクトカメラ	50	39	△11
└ その他（※）	28	23	△5
売上総利益	97	88	△9
販管費	109	87	△21
営業損益	△12	1	+13

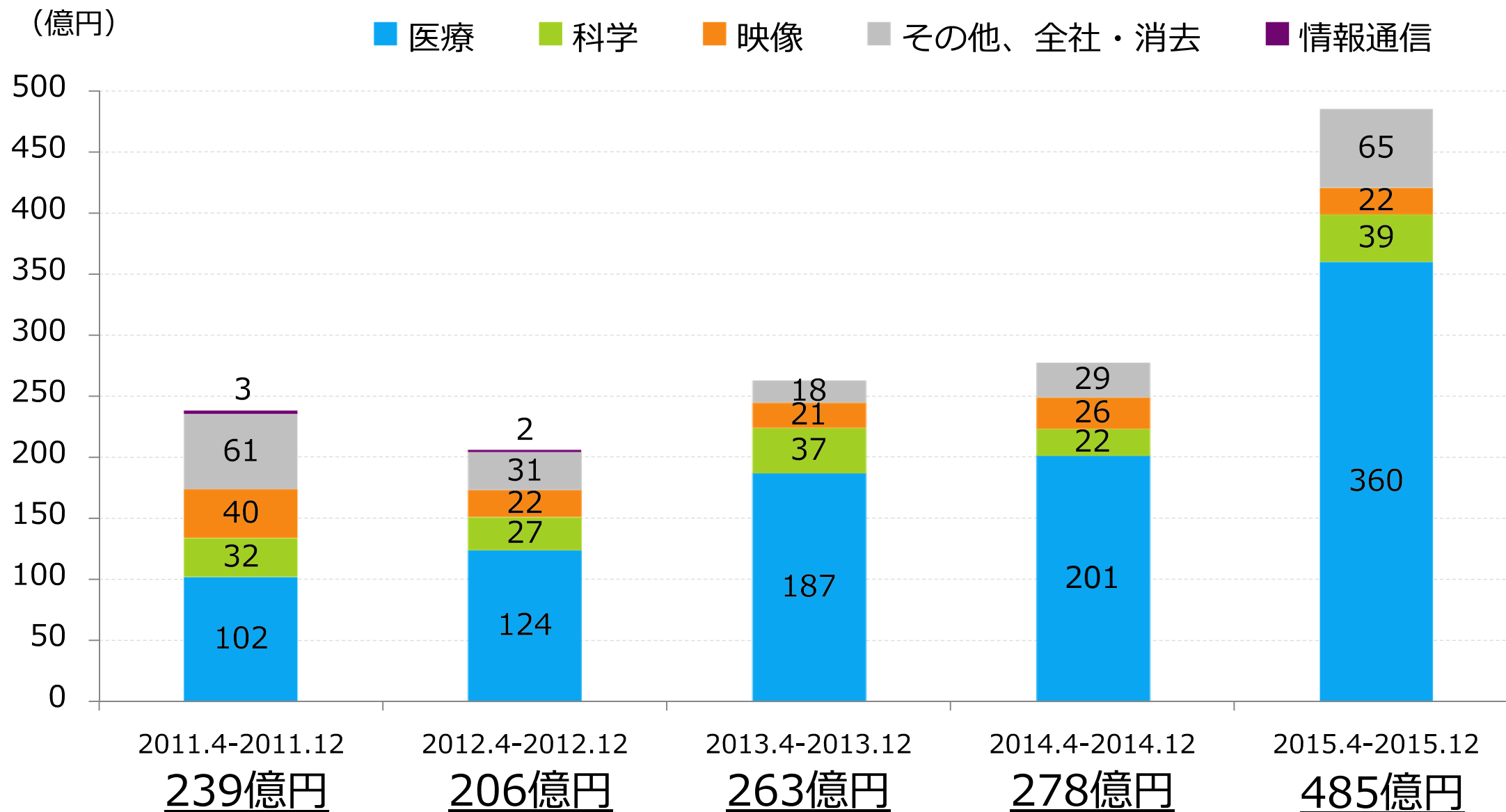
【参考資料】 研究開発費



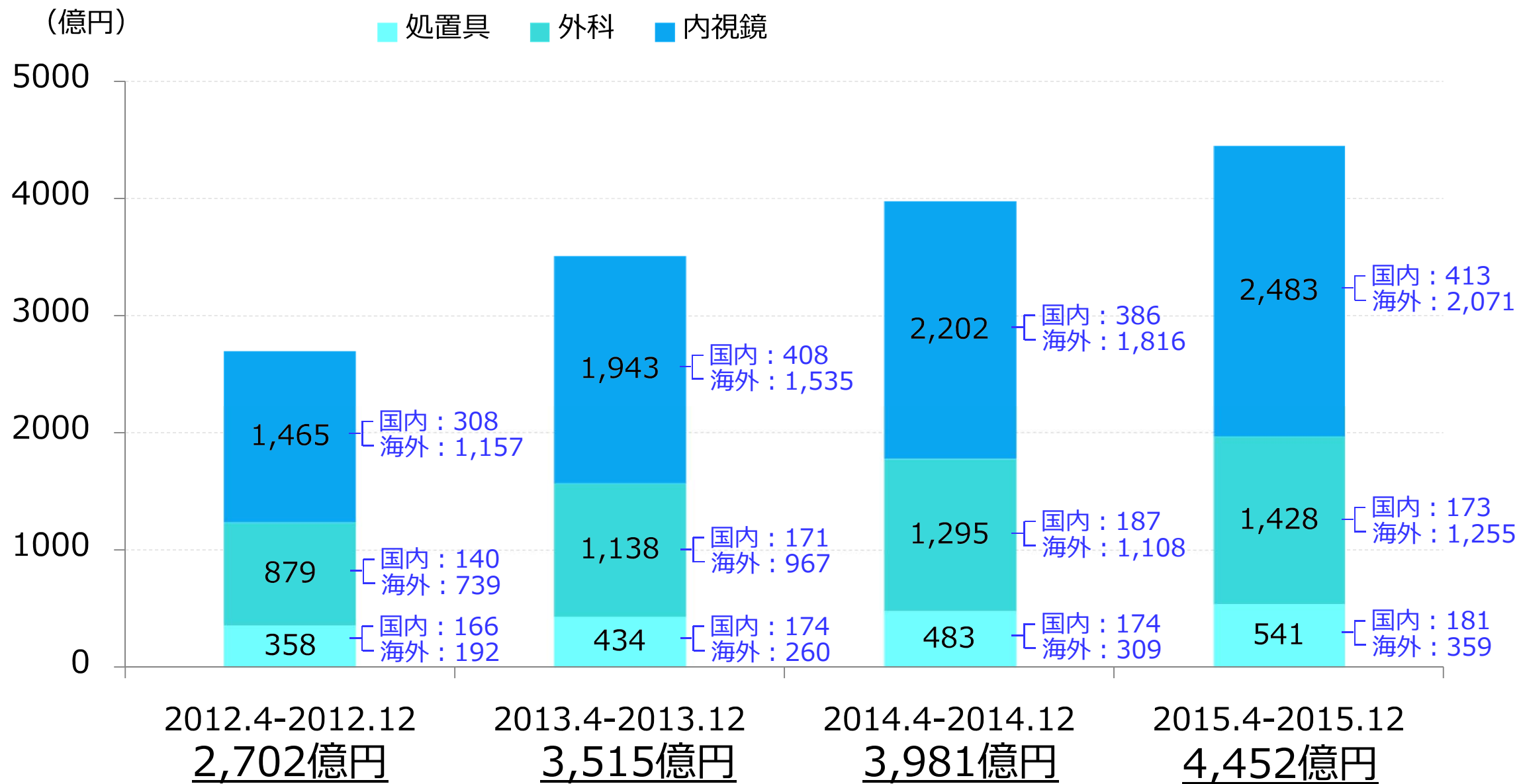
【参考資料】減価償却費



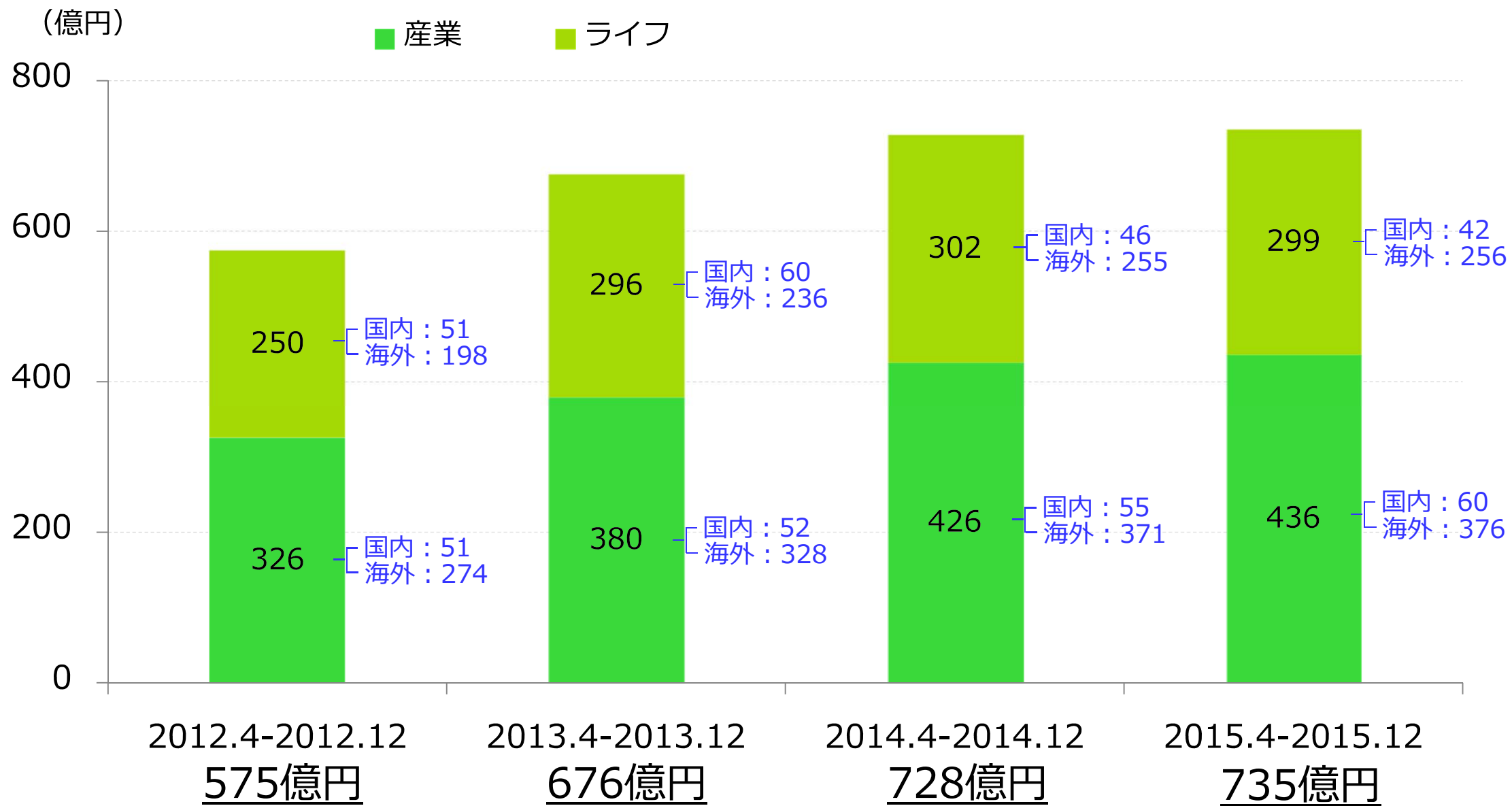
【参考資料】 設備投資



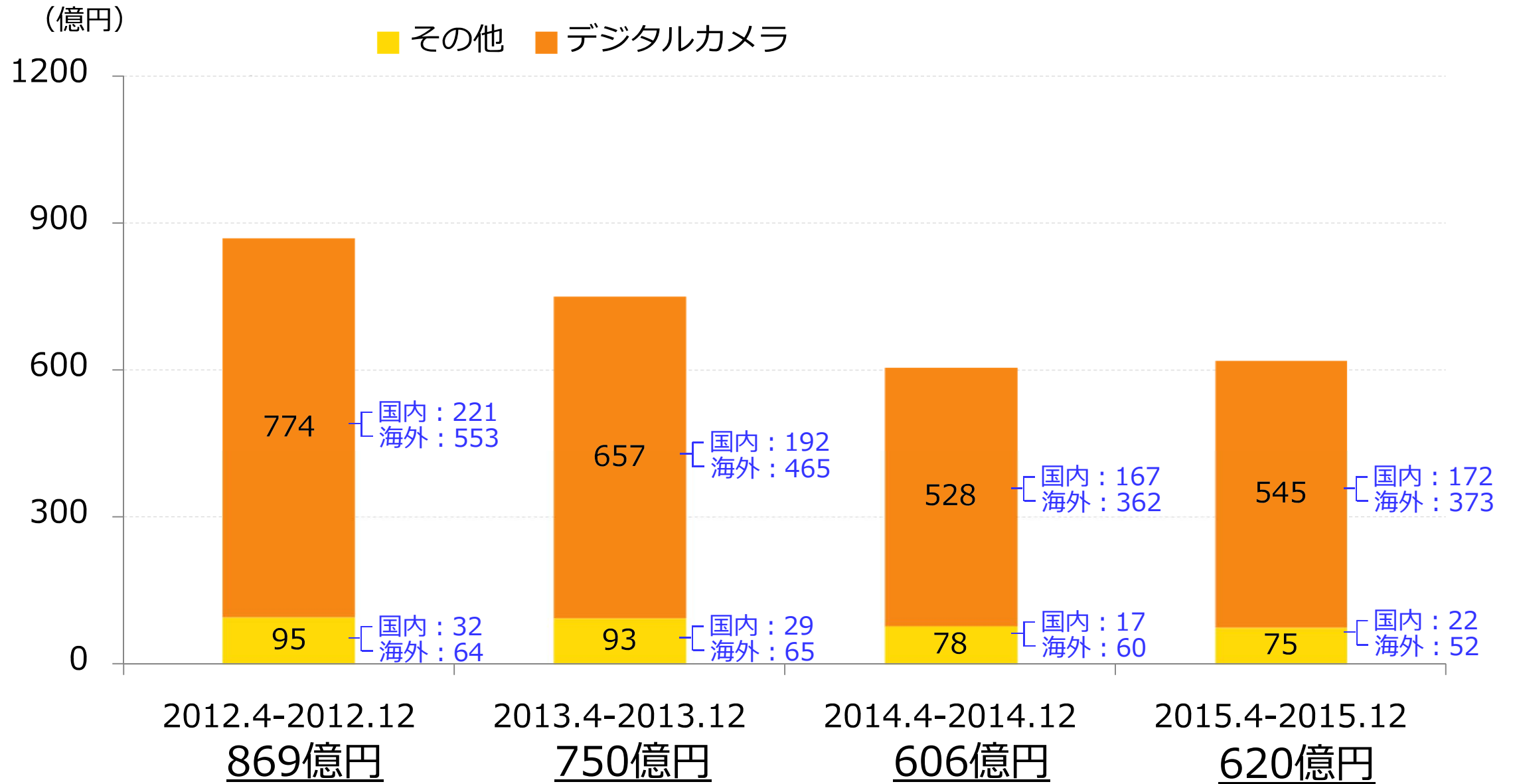
【参考資料】 分野別売上高 (医療)



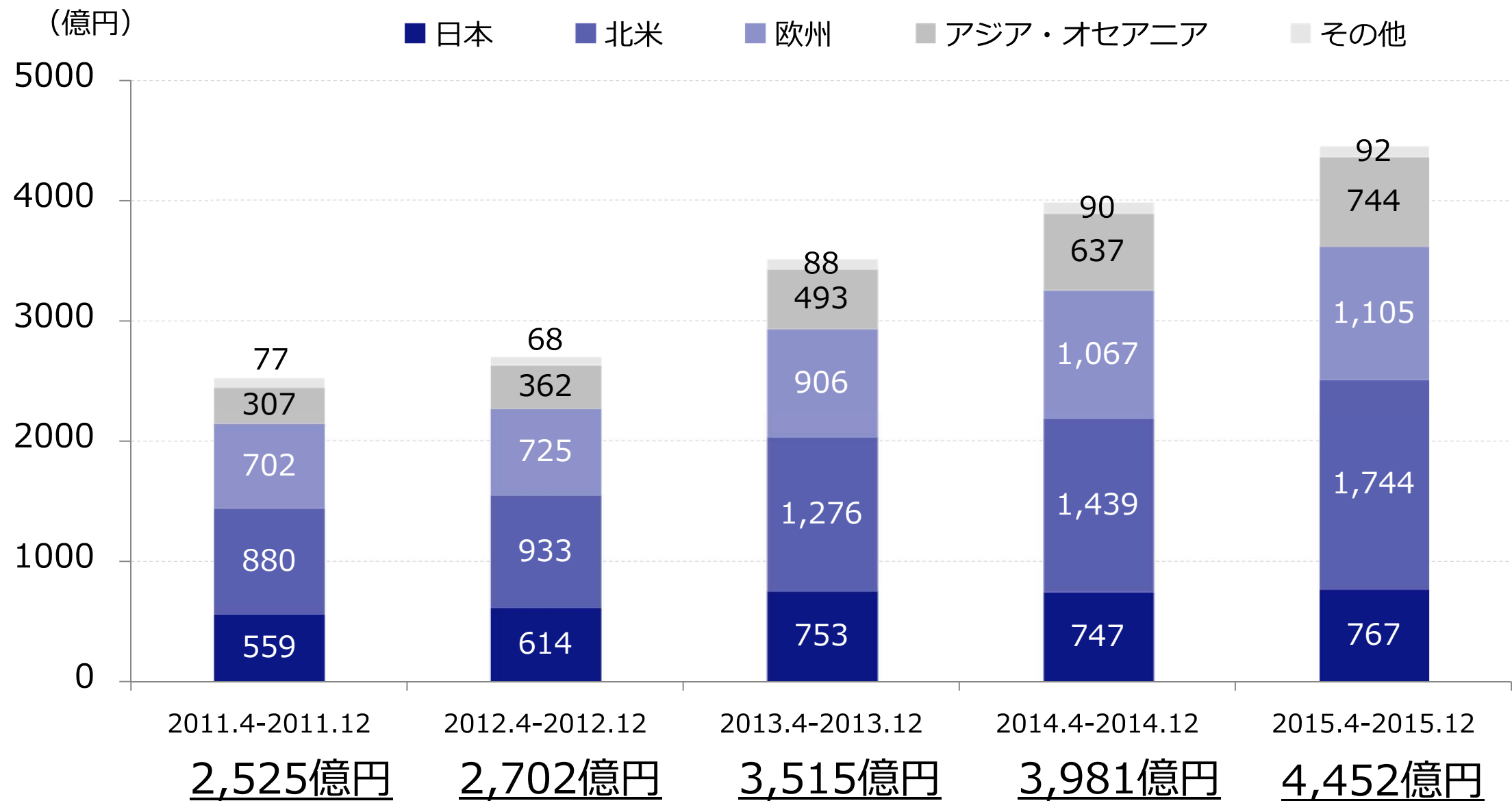
【参考資料】 分野別売上高 (科学)



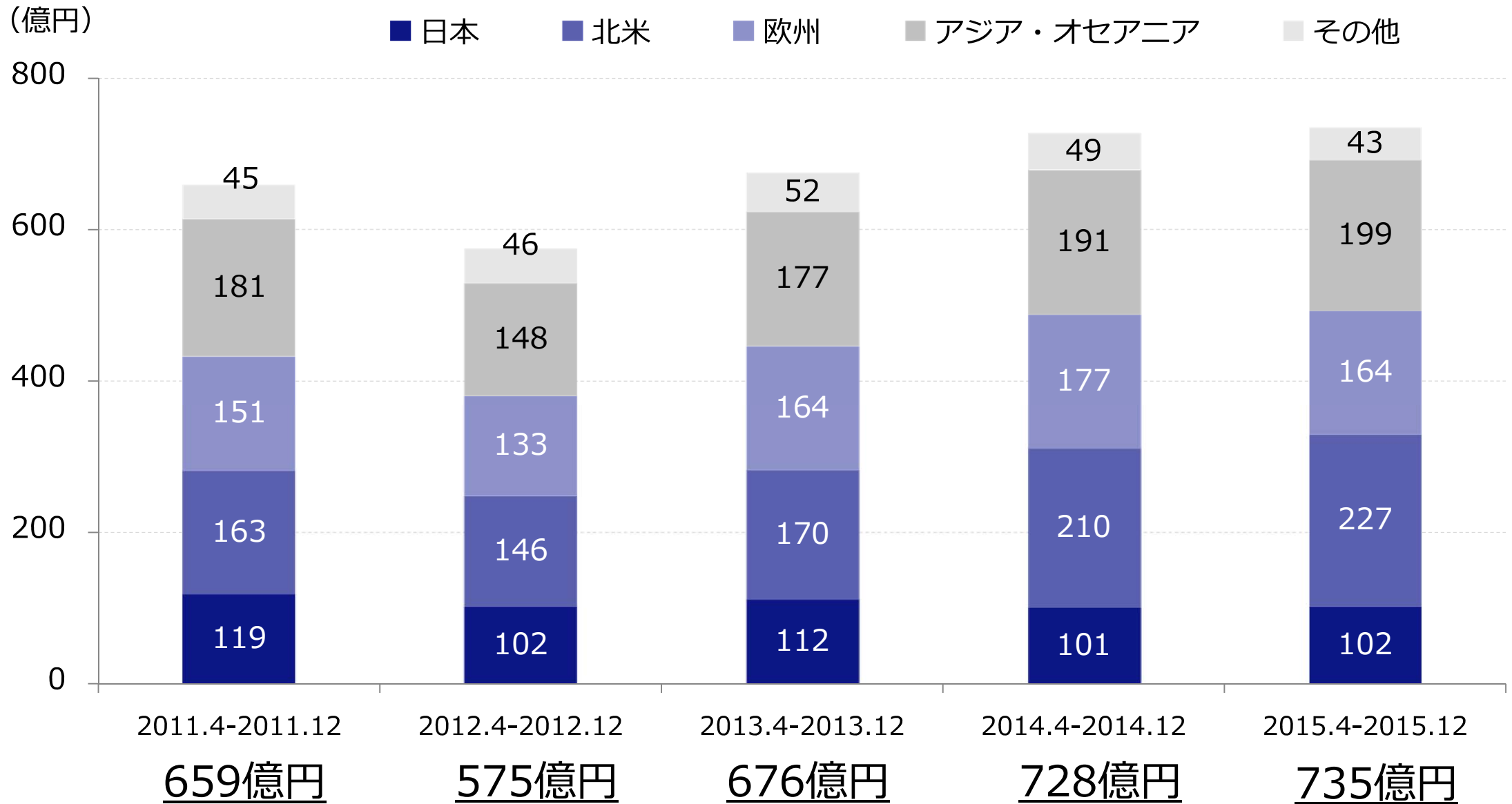
【参考資料】 分野別売上高 （映像）



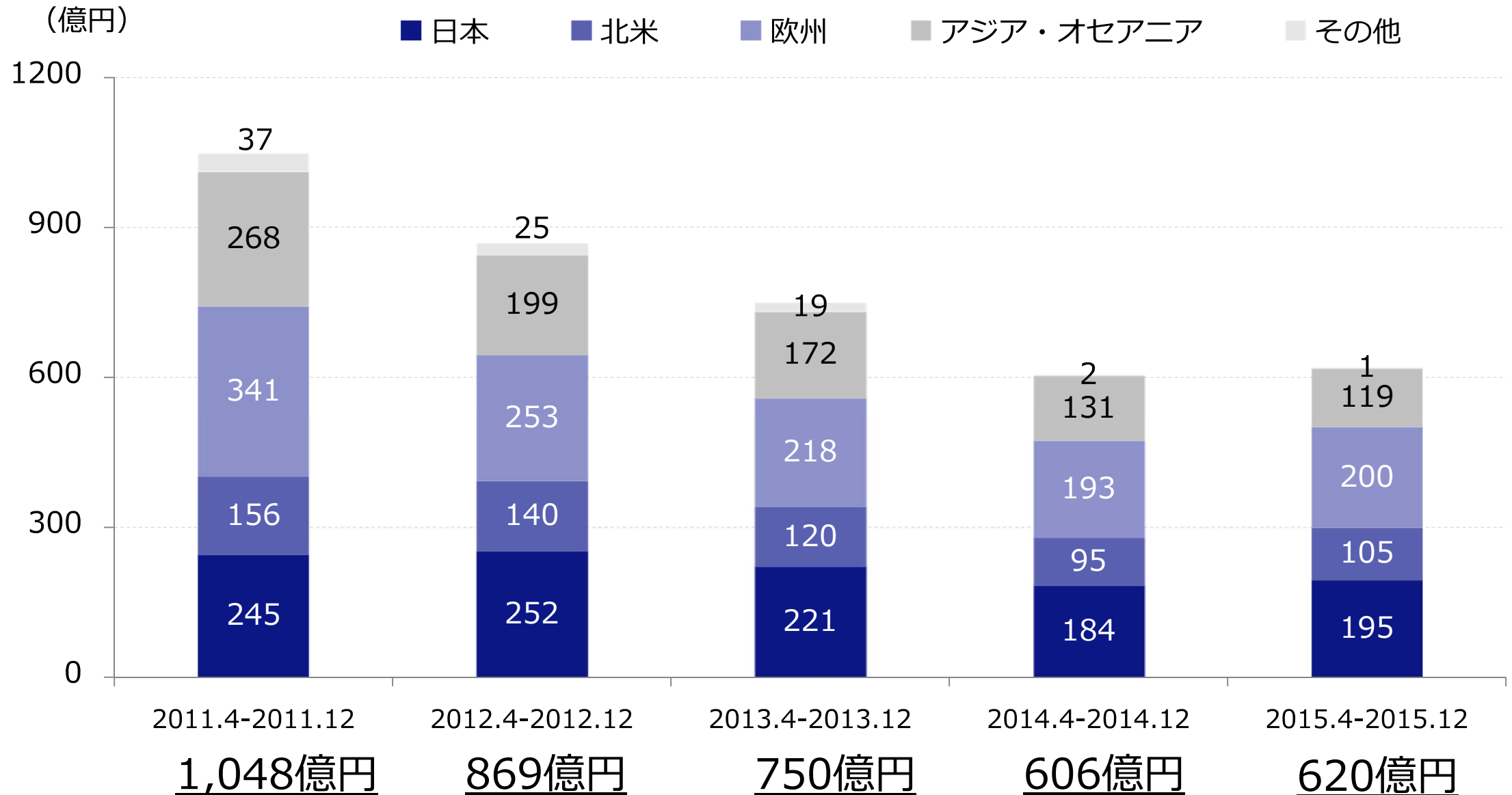
【参考資料】地域別売上高 (医療)



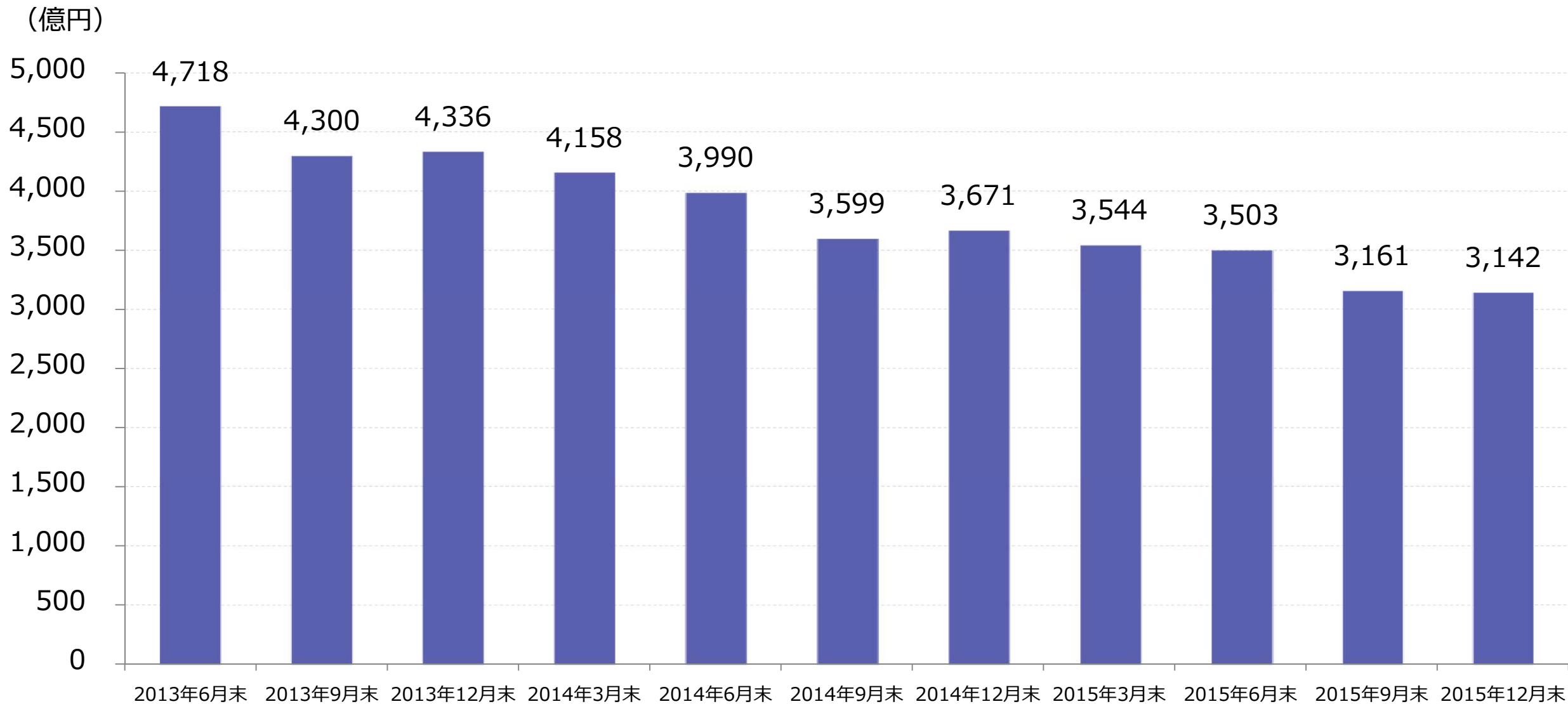
【参考資料】地域別売上高 (科学)



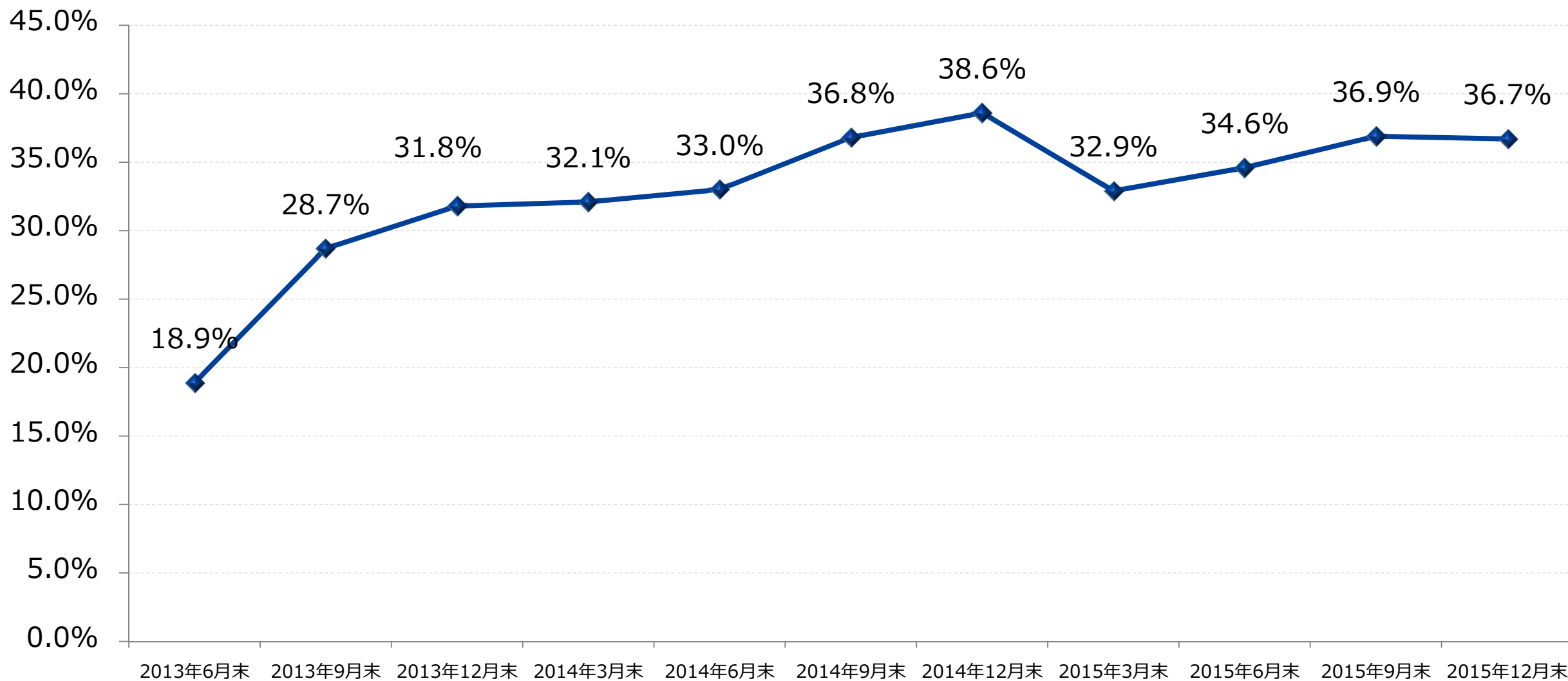
【参考資料】地域別売上高 (映像)



【参考資料】有利子負債



【参考資料】自己資本比率



OLYMPUS

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。